

令和2年度 第1回燕・弥彦地域公共交通会議（書面協議）の結果について

■協議過程

審議期間 令和2年5月25日（月）～ 令和2年6月5日（金）

合意に至った日 令和2年6月5日（金）

1. 議事

（1）令和元年度燕・弥彦地域公共交通会議歳入歳出決算について

⇒ 異議なし。ただし、次のとおり意見あり。

番号	意見等	回答
1	歳入の不足を歳出の実績減でカバーしている印象。	歳入に不足はなく、余った予算については、燕市と弥彦村で還付しております。予算額と収入済額に差があり、見込んでいた歳入より少ない印象を受けるかもしれませんが、回数券販売収入（3款1項1目）は予算額を上回って収入しております。

（2）令和2年度燕・弥彦地域公共交通会議歳入歳出予算（案）について

⇒異議なし。ただし、次のとおり意見あり。

番号	意見等	回答
1	決算と同様に縮小傾向ですが、これの内容としては大丈夫ということか。	予算額は昨年度と比較して減少となっておりますが、公共交通サービスは現状を維持しております。昨年度よりも減少した要因といたしましては、フィーダー系統補助金の上限額があがったことがあげられます。

(3) 燕・弥彦地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

⇒異議なし。ただし、次のとおり意見あり。

番号	意見等	回答
1	COVID-19 による外出自粛の影響を反映しているか。	本計画は令和2年10月から令和3年9月のものとなります。COVID-19の影響は今後もあるかと思いますが、令和2年10月以降の影響を考慮することは困難と考え、前計画と同様の数値としております。

(4) 弥彦・燕広域循環バス「やひこ号」のフリー乗降区間の追加について（案）

⇒異議なし。ただし、次のとおり意見あり。

番号	意見等	回答
1	フリー乗降区間であっても安全のため乗降できない場所があることを周知してほしい。交差点付近、横断歩道前後等	承知しました。バス車両に注意喚起のチラシを掲示するなど検討します。
2	フリー乗降区間における安全性の確保について、関係機関における調整を図っていただきたい。	道路管理者および警察などの関係機関と調整していきます。

2. 報告

(1) 公共交通利用実績について

⇒ 次のとおり意見あり。

番号	意見等	回答
1	利用減の長期傾向に対するテコ入れの手掛かりは分析できないか。	減少の要因として考えられることは、資料5に記載されているとおりですが、これに対する対応策については、現状具体的には考えられておりません。

(2) 燕地区新規バス路線実証運行について

⇒ 次のとおり意見あり。

番号	意見等	回答
1	運行にあたり引き続き運輸支局と相談の上、進めていただきたい。	承知しました。
2	具体的にこれまでの実施状況をどのように踏まえて立案されたか。	平成30年度に策定した「燕・弥彦地域公共交通網形成計画」の施策・事業（コミュニティバスの新規路線開設の推進）に基づき行うものになります。

3. その他

⇒ 次のとおり意見あり。

番号	意見等	回答
1	高齢者の利用がほとんどだと思えます。利用者は病院等に行くことと思えますが、そのため土日（祝）の運行ができないか。私個人としては、土曜日にゆっくりと弥彦方面に行ってみたいと思っていますが・・・	休日運行について、平成29年度と平成31（令和元）年度に社会実験を実施いたしました。しかし、利用状況は平日と比較すると、大幅に少なく、費用対効果の面から休日運行の著しい有効性が直ちに見出せない状況でした。このことから、休日運行の実施については引き続き検証していくこととしております。
2	新型コロナウイルスの関係で観光は厳しい状況ですが、今後の経済復活には二次交通は重要と考えるが。	二次交通について、燕市観光振興課をはじめ、燕市観光協会や弥彦観光協会とも連携を図り、検討してまいります。